

広報

なぎじん

No. 77

1982年 4月

村章

(毎月1日発行)



▲字仲宗根でゲートボール場開き

字仲宗根(金城宏区長)でゲートボール場が完成。3月28日区民多数が参加し落成式が行われた。場所は通称イナブス(役場隣り)で約400坪を整地。字では今後休憩所やトイレ等も設置し、字民のスポーツ広場として整備していくことにしている。

今帰仁村の人口(昭和57年2月28日現在)

人口 10,008人(+23)

()内は前月比



5,082人(+6) 4,926人(+17)

世帯数 2,772戸(+6)

編集発行: 今帰仁村役場総務課秘書広報係
〒905-04 沖縄県今帰仁村字仲宗根219 電話098056-2101
印刷: 沖縄高速印刷株式会社
南風原町字兼城577 電話0988-89-5513

今月の主な内容

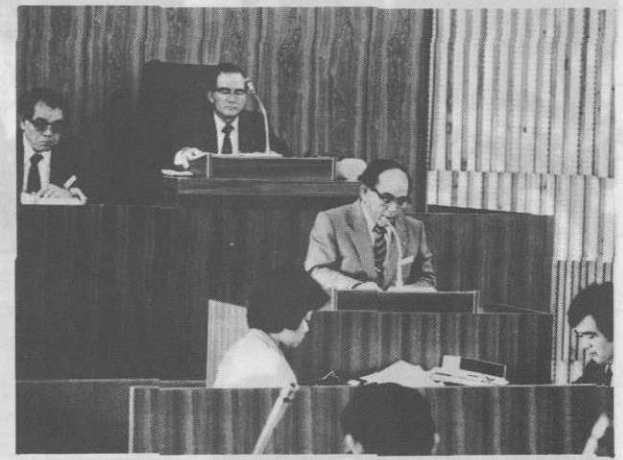
- 二・三・四・五 進められる住みよい環境整備
- 六 五五年国調から 社会状況に左右される村の人口
- 七 村民コーナー私の一言 少年非行の低年齢化に想う 字上運天八四三 上地文子
- 八 村で初の女性区長誕生 字勢理客の大城敏子さん
- 九 体力の向上と気力の充実に成果 今中体力づくりの実践を報告
- 十 春の交通安全運動
- 十一 地域ぐるみで育てよう 青少年健全育成運動

新年度の総予算は25億5,483万円

松田村長が昭和57年度施政方針を表明

進められる住みよい環境整備

産業・福祉・教育の振興を柱に



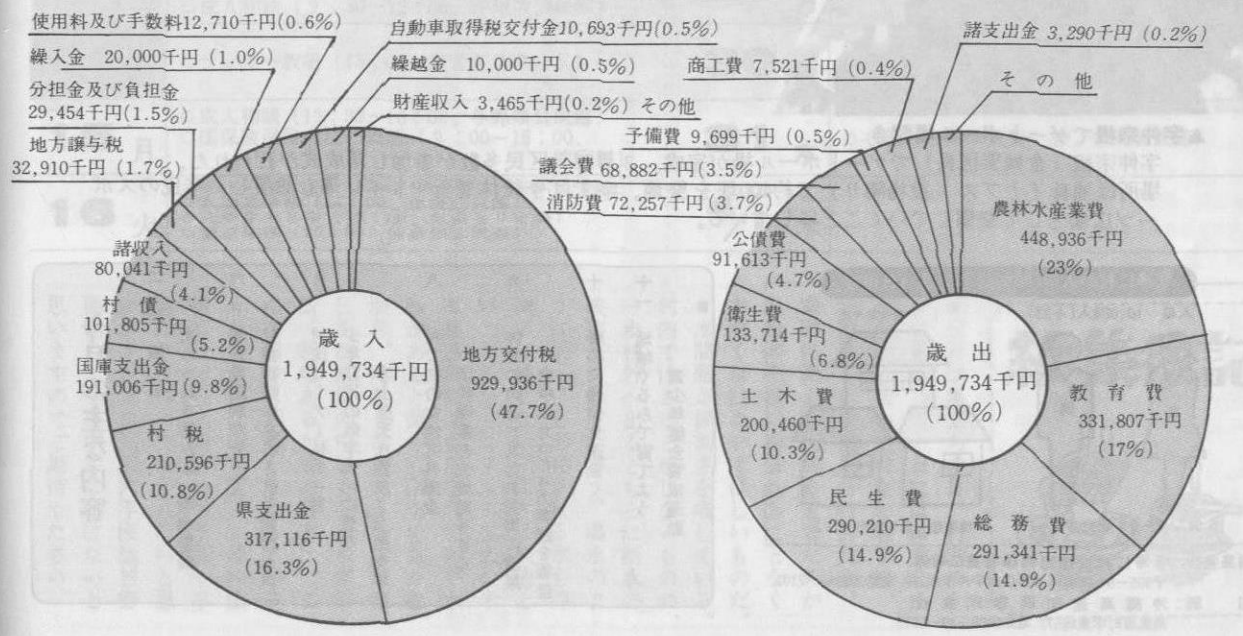
▲57年度施政方針を述べる松田村長

昭和五十七年第一回今帰仁村議会定例会が三月十二日開会され、三十日までの日程で熱心な質疑がかわかれています。今議会に提案されたのは、昭和五十七年度一般会計予算案、特別会計(国保・水道)予算案、条例改正案など十七の案件。議案説明に先立ち、提案事項の説明に立った松田村長は「復帰十周年の節目の年を迎え財政的にも厳しい年になるが、村民の協力を得て産業振興、福祉の充実、教育・文化の振興を図りたい」と今年度の抱負を述べました。また、六十二年国体に向けての用地確保についても「リゾートステーションを譲り受け整備したい」と初めて明らかにしました。

提案された一般会計予算案は一九億四、九七三万四千円(前年度に比べ十六%の減)、国民健康保険特別会計予算案は四億一、四三〇万六千円(前年比四・五%の増)、水道特別会計予算案は一億九、〇七九万四千円(前年比七・九%の増)で、総額二十五億五、四八三万四千円となっています。

今回は、村長施政方針(要旨)と今年度予算、各事業について特集してみました。

昭和57年度一般会計予算



入 歳

村税一〇%の伸び

四七%占める地方交付税

はじめに、予算の裏付けとなる歳入について、項目ごとに説明いたします。

歳入の中で、全体の約半分(四七・七%)を占める地方交付税は九億二、九九三万六千円で前年度に比べ七・五%の伸びをみせています。次に占める割合の大きいものは県支出金で、全予算の十六・三%を占める三億

村長施政方針

要旨

私は村長就任以来早くも四期十四年目を迎えました。その間一貫して「活力ある魅力ある村づくり」をめざして目標達成のために全力を傾注してまいりました。その間本村の生活基盤生産基盤が社会資本の整備に伴い著しい発展を遂げましたことは、ひとえに村民の皆様のご協力のおかげであり、誠に御同慶にたえません。

さて昭和四十七年に多くの村民の念願でありました本土復帰が実現し、今年には復帰十周年という沖縄県にとりましては誠に

意義深い節目の節を迎えます。この十年を振り返ってみますと、私達の生活環境はめまぐるしく変化をとり、まさに十年一昔という感を強くいたします。しかし、県・市町村の本土との格差是正という必死の努力にもかかわらず、沖縄の本土並はいまだに実現されない厳しい状況にあります。

これは、地理的・歴史的要因に端を発する沖縄の特殊事情に加え、内外の経済社会事情の変化による景気の停滞ということが大きなネックになっていると思われまます。さらに基地存在に派生する諸問題、水・エネルギー

村民の融和で

安らぎのある村づくりを

その立場から、私は財政の健全化を図りつつ限られた財源の中で予算の重点的かつ効率的な配分を図るとともに、事務事業費の点検、人件費の抑制、経常経費等の節減、さらに自主財源の確保等に最大の努力を払って

産業・教育振興に重点

はかれる福祉の充実

歳 出

まいりました。また昨年度に実施し、合理的な行政の運営に多くの成果をあげてまいりました。機構改革の促進、効率的な新規補助事業や継続事業等のハードウェアに加え、人づくり、生きがいづくり、ムラづくり等のいわゆるソフトウエアの面にも十分配慮し予算編成をしております。

今後とも対政運営は困難を極める事が予想されますが、村民の皆様の御理解と御協力をいただき、村民一人一人が安らぎと潤いを持って生活できる文化の香り高い今帰仁村建設の為に、基本構想並びに基本計画に沿って新年度の各施策を力強く推進していく所存です。

以上申し述べました村政運営並びに昭和五十七年度予算編成に当たっての基本的理念に基づいて昭和五十七年度は

(I) 農林水産業・観光商業等産業の振興
(II) 社会福祉、環境保健衛生の充実
(III) 教育・文化・スポーツの振興
(IV) 六十二年国体に向けての基盤整備

の五項目を基本目標に各施策を推進してまいります。

適正な議会運営を

議会費は、適正な議会運営のために使われる予算で、全体の三・五%を占める六、八八二万二千元となっています。この中には、議員報酬のほか、会議録の購入費が含まれています。

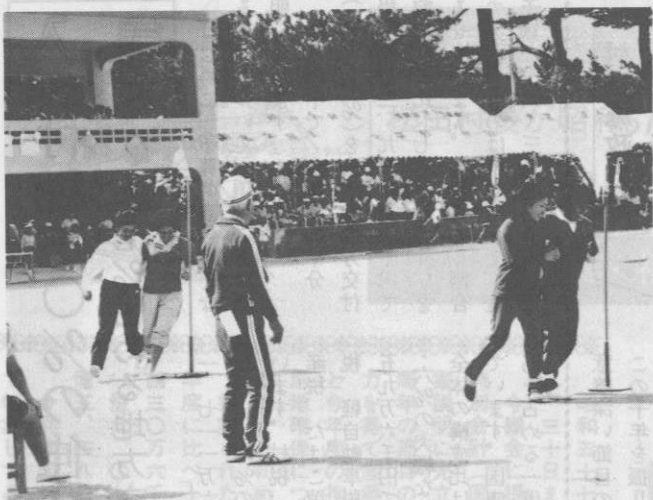
〈次頁へ続く〉

団体に向け 業務を開始

総務費

総務費は村の全体的な計画や各種団体の育成等に使われるもので、二億九、一三四万一千円と全体の十四・九%を占めています。

総務費には、村体協、青年会婦人会、村青少協、区長委託料字運営補助、村まつり補助、今小百周年記念事業補助など各種団体補助、負担金、村長専用車購入などが含まれています。ま



福祉施策を 積極的に推進

民生費

た、六十二年国体に向けて、村ではリゾートステーションを譲り受け整備する計画を進めていますが、それらの計画策定のための総合運動公園計画の委託費もおり込まれています。

その外、村広報・統計書三号の印刷費、選挙費、各種統計調査費等が含まれています。

村民の健康で明るい豊かな生活を保障する福祉の充実が村政の最大の目標であり、年々その需要も高まっています。これら児童福祉、老人福祉の充実、国民年金事務などに使われる民生費は、全体の十四・九%を占める二億九、〇二一万円となっています。



村の六十五歳以上の高齢人口は一、五三一人で、全村人口の十六%にも達しており、老人間

文化の香り高い 村づくりを

教育費

教育の発展は地域の発展の礎であるといわれるように、人づくり、生きがい対策等、教育・文化の振興は村政の最も大きな柱であります。そのため教育費は全構成比の十七%と占める割合が高く、三億三、一八〇万七千円で、学校施設や内容の充実、社会教育の振興、文化財の保護育成のために使われます。

五十六年度で公立文庫施設整備十カ年計画のうち五カ年計画分については完了し、体育館や校舎の新増築が行われました。今年度も引き続き視聴覚教室を始め特別教室の整備を図っています。

情操教育や生涯教育としての社会教育の果たす役割は大きく、今年度も各種団体の自主的活動を促がし、各団体間の連携を密にして指導体制を図っていくこととします。また、各種研究・行事の活発化に伴い、中央公民館は社会教育の拠点として利用度が高まっています。今年度も各種学級・教室を強化していくとともに、図書利用を促進し村民の資質の向上を図ります。村では、五十五年度来、今婦

四月一日より 歯科診療を開始

衛生費

仁城跡環境整備事業を実施し、発掘や城壁の修復を行ってきました。今年度も引き続き環境整備事業を実施し、地域の文化向上に努めていきます。また埋蔵文化財の調査指定、保護費を講じるとともに、「今婦仁の文化財」を逐次発刊し、文化財尊重の気運を高めていきます。

衛生費は一億三、三七一万四千円で全体の六・八%を占めています。衛生費は、各種予防接種や検診、診療所、火葬場運営、本今清掃組合負担金、じん芥収集委託料など、村民が健康で住みよい生活を営むための環境づくりに使われます。

なお、四月一日をめぐりに村立診療所において、日曜・祭日を除く毎日、歯科診療が開始されます。残る総合診療や古宇利診療所についても、早めに医師の確保ができるよう努力してまいります。さらに今年度は、住民検診による疾病の早期発見、早期治療を図るとともに、村民自らの健康管理意識の向上のためその指導に努めていきます。

村の風土をいかに 観光を振興

商工費

商工費は〇・四%を占める七五二万一千円で、村商工会への補助と観光振興が主なものです。村商工会は年々組織を強化し、さらに地域商業近代化対策調査事業により改善が行われています。村としても、それらの事業に対する協力と商工会に対する助成を今後も行ってまいります。

村の観光は、その固有の風土と文化を活かすことにより飛躍的な発展が期待されます。今年度は観光パンフレットや立看板設置、さらには城跡の整備、乙羽山の整備促進により魅力ある観光基盤を形成してまいります。また、心豊かなふるさとづくり運動を通して「緑化・美化・親切」の三つの運動を推進していきます。

生産基盤と 意欲の向上を助長

農林水産業費

村の産業の中心をなす一次産業振興のための農林水産業費は四億四、八九三万六千円で、全構成比の二三%と最も占める割合の大きいものです。この中で

は農業振興補助、農薬購入補助各生産組合補助を含め、数々の農業振興、林業・水産業振興のための事業が計画されています。まず、今年度は東部土地改良事業、古宇利農道整備、農村総合整備モデル事業、団体営草地開発事業等の継続事業を実施し、生産基盤の向上を図ってまいります。また農家自らの経営改善を助長するよう、農業生産団体に對しては助成、育成していくとともに、地域農政特別対策事業や農用地利用改善促進事業を実施し、農業振興運動を拡大してまいります。さらに一次構、二次構と、過去八年間にわたって構造改善事業を推進してきましたが、新たに構造改善モデル地区整備特別対策事業の指定を受けるため、国・県に対し要請を重ねています。

これらの各事業を通じ、農家の生産意欲の向上を図りながら基幹作目であるさとうきび、パイン、野菜・花き、葉タバコの振興を積極的に推進してまいります。畜産については、農協有家畜導入事業、優良子牛繁殖奨励事業を引き続き実施し飼養頭数の拡大を図るとともに、農協肉用牛肥育センターの経営基盤を確立してまいります。また新規事業として、優良種雄豚の導入を行い、品種改良に努めていきま

需要に応じ 道路を新設

土木費

村においては、従来より海の資源を守りつつ沿岸漁業、養殖を行っており、今年度も今婦仁漁協が行うモズク養殖、ウニ移植並びに漁船建造事業を推進してまいります。また、漁港整備事業も積極的に推進してまいります。新殖造林事業については、五十五年度来実施してきた桜等の新殖造林を今年度も実施（三ヘクタール）してまいります。林道については、仲尾次林道の開設事業を引き続き実施するとともに、乙羽山林道の整備をあわせて推進し、現在行われている乙羽山生活環境保全林整備事業と併行して山林の活用を図ります。

産業の発達や交通手段の多様化に伴い、道路の維持管理や整備に対する需要は高まる一方です。これら村内の道路の新設・維持管理に使われる土木費は、全構成比の十・三%を占める二億四六万円となっています。今年度は、謝名玉城線（継続）越地線、湧川ガジマンドー線、湧川運天線の未施行分の改良舗装を計画しています。舗装事業については、総延長

特別会計

呉我山への 送水施設を整備

水道

百七キロメートル中、五十六年度までに八七キロメートル終了（八一%達成）となっており、残る二〇キロメートルについては毎年継続していく計画です。県代行事業の今婦仁中央線改良については、五十六年度事業として崎山地区内の二八〇メートルが完了していますが、残る地域についても早期完了するよう県に協力してまいります。

私たちの日常生活に欠かせない水道会計特別予算は一億九、〇七九万四千円で、前年度に比べ七・九%の伸びになっています。村の水道事業は、第一次長期五カ年計画の策定以来、毎年補修改良が行われ、当初計画の達成に近づきつつあります。今年度事業としては、仲宗根地区の宇玉城地区を全面改良し、さらに未給水地区である呉我山への送水施設の整備を行う計画です。

高額療養資金 貸付基金を設置

国民健康保険

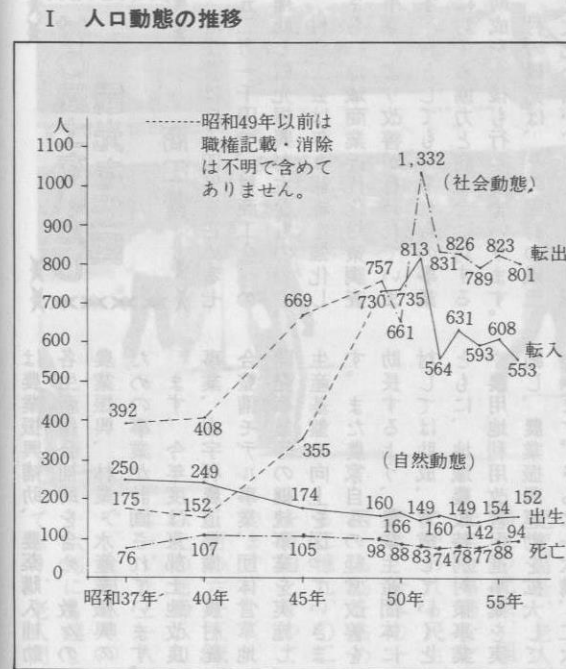
村民の医療保険に大きな役割を果たしている国民健康保険特別会計は四億一、四三〇万六千円と、前年度に比べ四・五%の伸びをみせています。現在の被保険者数は六、六一一人で、村人口の六六%が加入していますが、医療費の上昇に伴い負担も大幅に上昇して、収納率は低下傾向にあります。国保財政は今後増々厳しくなる予想であるところから、今年度は村民の健康管理に最も力を入れ、コンピュータードックの実施、保健指導、レセプト点検を強化し、医療費の抑制を図ってまいります。

また、高額医療者の生活安定を図るため、一般会計から三百万円の繰出金により「高額療養資金貸付基金」を設置し、貸付制度を実施してまいります。

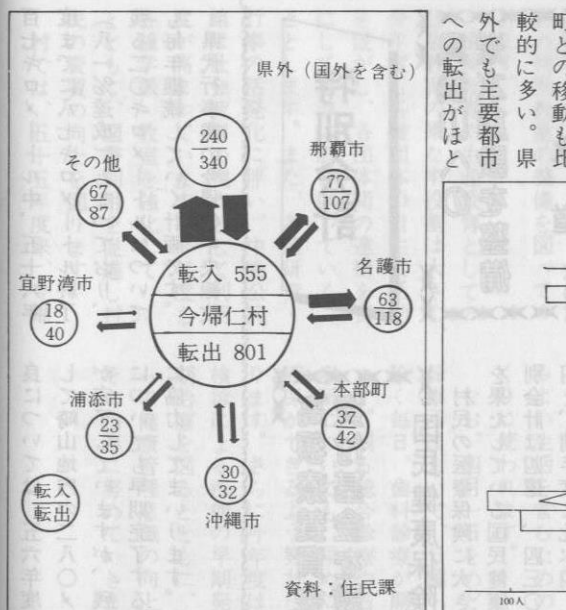
55年国調から

社会状況に 左右される村の人口

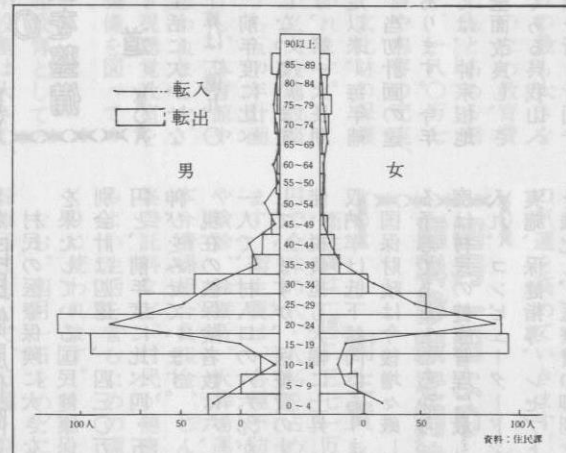
人口は様々な内的・外的要因に左右され、規模においても構造においても絶えず変化しています。出生や流入によって増加し、死亡や流出によって減少し



自然動態をみると、本村の場合、死亡数は横ばい状態が続き、出生数も年間一五〇〜一七〇人と安定しています。これは高齢化社会の傾向と、出産年齢層(二〇歳〜三四歳)の村内定着によるものと思われまふ。このように自然動態は安定した動きをみせ、昭和五十年から五十五年までの五年間に出生数七六六人、死亡数四〇〇人で三六六人の増となつています。



III 人口の流動状態 (昭和56年1月～12月)



II 年齢別・男女別社会動態 (昭和56年1月～12月)



少年非行の 低年齢化に思う

エスカレートする 青少年非行

いまわしい犯罪や非行が日々私たちのまわりで起こっています。特に最近の青少年非行を見ると、低年齢化や悪質化が目立っています。一昔前までは少年非行といえばほとんど中学生以上でしたが、このごろでは次第に低年齢化し、また女子の非行が目立つようになりました。

日常生活の中で 培われる親子の絆

日本は敗戦とともに、封建的軍国主義社会から自由を尊重する民主主義社会へと大きく変貌し、女性も男性と同じ立場で物がいえるようになりました。高度成長による物質文明の発展もめざましく、日本は一躍世界の経済大国の仲間入りをはたしました。



親子の絆は、親子の間に育つていく上での信念としておられます。このような考えから、中部に住んでいた私達は年老いた両親の要望に応じて、昨年の春こちらに越してまいりました。子ども達にとって、農作業は初めてのことで大変だと思いましたが、家の仕事だから皆んなで協力しなくては行けないのだ、という聞かせ、日曜日や休日には半日づく手伝わせておられます。キビ煙の中で交わす会話は、学校や友達の事、社会のいろいろな出

ながら男女別・年齢別の構造が変化します。人口動態は生活条件などに敏感に反応し、従って地域社会のひとつの指標として注目しなければならぬ大切な要素です。前回の総人口の推移について住民課資料をもとに述べてみたいと思います。

次は社会動態の性別・年齢別構成をみてみます。まず男女別にみると、男子が転入転出とも若干多い程度で、男女間に注視すべき差異はみられません。年齢別にみると、構成が実状をなして、十五歳から二十四歳

の層で社会動態のほとんどを占め、四十五歳以上の移動は極めて少ない。また十五歳ないし十九歳層で転入より転出が多く、就職・進学などで県外及び他市町村へ流出していることを示しています。二十歳から二十九歳では転出も多し、転入も多し、移動したのがいったんはUターンしていることがうかがえます。

現代の子どもは、利他的で忍耐力がないと云われます。学生は勉強だけして居れば良いと云うものではないと云われます。その子の能力に応じて、家事や農作業の手伝いをさせたいものです。体を動かし汗を流すことにより、体をきたえ忍耐力をつけることは、学習面においても必ずプラスになって表れると思います。

親子の絆は、親子の間に育つていく上での信念としておられます。このような考えから、中部に住んでいた私達は年老いた両親の要望に応じて、昨年の春こちらに越してまいりました。子ども達にとって、農作業は初めてのことで大変だと思いましたが、家の仕事だから皆んなで協力しなくては行けないのだ、という聞かせ、日曜日や休日には半日づく手伝わせておられます。キビ煙の中で交わす会話は、学校や友達の事、社会のいろいろな出

村で初の女性区長誕生

字勢理客の
大城敏子さん



▲大城敏子氏

字勢理客において、三月一日
付けて区長が交替いたしました。
これまで、長い間頑張ってい
ただいた諸喜田幸男さんにかわ

つて、新区長は大城敏子さん
(字勢理客一五一、TELE-四
三〇八)です。なお、大城さん
は本村初の女性区長で、これか
らの活躍が期待されます。
二カ年間区民や村の発展のた
めに頑張ってください。諸喜田さ
んご苦労様でした。また、新区
長の大城さんに皆様のご協力を
お願いいたします。

全国町村会より表彰

村役場の西島・新城両氏

村役場総務課長の西島光男氏
と、村教育委員会公民館主事の
新城堅一氏の二人が、一月二九
日全国町村会(坂本常威会長)
より表彰されました。二人の受
彰は、二十五年以上の多年にわ
たり村職員としてその職責を全
うしたというものです。



▲西島光男氏



▲新城堅一氏

西島光男氏は、昭和三十一年
十一月財政調査員として村役場
に入り、三十九年一財政課長、
四十八年一教育課長を歴任し、
五十五年十二月から総務課長と
して現在に至っています。
新城堅一氏は、昭和三十一年
七月産業技術補畜産係として村
役場に入り、三十九年一固定資
産評価等専任事務、四十七年一
税務課係長、五十四年一住民課
係長を歴任し、五十六年から公
民館主事として現在に至ってい
ます。



全国町村会議長会 沖縄県町村会議長会 より表彰

村議会の九議員

永年村議員を務め、地方自治
の向上に貢献したとして、嘉陽
宗哲(議長)山城正(副議長)
嘉数安喜、喜納智、山城辰雄、
川上正一の六氏が全国町村議
議長会(野村政夫会長)より、
また嘉陽宗哲、親川秋男、謝花
喜祐、玉城千喜の四氏が沖縄県
町村議会議長会(屋宜宣貞会長)



▲嘉陽宗哲氏



▲嘉数安喜氏



▲山城 正氏



▲山城辰雄氏



▲喜納 智氏



▲親川秋男氏



▲川上正一氏



▲玉城千喜氏



▲謝花喜祐氏

につくしたというもの。氏は三
十三年六月にわたり村議員を
務め、うち議長七年副議長四年
を歴任しています。山城正、嘉
数安喜、喜納智、山城辰雄、川
上正一氏の受彰は、村議員とし
て十五年以上在職し地方自治の
振興発展に寄与したというもの

で、五氏とも十五年三カ月村議
員を務めています。
また村議員として十一年以上
在職し、自治振興に功労があつ
たとして親川秋男、謝花喜祐、
玉城千喜氏が沖縄県町村議会議
長会より表彰されました。親川
氏が十一年五カ月、謝花氏と玉

体力の向上と 気力の充実に成果

体力づくりの実践を報告

—今 帰 仁 中—

生活化をめざす体力づくりを
研究テーマとした、今帰仁中学
校(祖慶良賢校長、生徒数三八〇
人)の体力づくり研究報告が
二月二十六日同校で行われた。
今帰仁中では、五十四年度か
ら三年間にわたり沖縄県教育委
員会体力づくり推進校に指定さ
れていたもので、日頃生徒達が
行っている持久走、サーキット
などの実践、ビデオ視聴を利用
した全体会で成果が発表された。
これまで体力の弱さもさること
ながら、気力・集中力などの
精神面も他の地域に比べ劣って
いるということから、気力あふ
れる生活化をめざすために「生

活化をめざす体力づくり」をテ
ーマとして設定。
①体位と相応して体力運動能力
を育てる。
②行動体力を総合的に増強する。
③苦しくても最後までやりとげ
る気力を養う。
④日常生活に進んで運動をとり
入れる態度を育てる。
ことを重点目標に、個々の体
力の実態を把握し、健康診断や
食事献立もチェックしながらサ
ーキット、持久走、球格技等を
続け、気力や体力の向上を図っ
てきた。
同校では、これまでの成果と

①全校生徒が体力づくりについ
ての認識を高めた。
②はだか体育が定着し、酷暑、
酷暑問わず全く抵抗がない。
③スポーツテストの結果、多く
の種目が県平均を上回った。
④運動場整備とともに、体力つ
くり施設整備ができた。
⑤体育行事などにおいて、生徒
の主体的な活動が一段と活発

になった。
⑥持久走等自己の順位、記録に
挑戦するようになった。
ことなどをあげている。さらに
休み期間中の体力づくりをどう
計画し実践させるか、各家庭に
おける体力づくりの実践をどう
するか、などをあげ、今後の継
続課題としている。

持 久 走

今中三の二 仲村 武

一年生のときから上半身裸で
体育や持久走をはじめ、早く
も三年間になろうとしている。

いし、冬はカタカタふるえるほ
どだ。そのうえ、ときどき雨も
ふることがある。



▶男生徒による持久走



▶女生徒によるサーキット

はじめのうちは抵抗があつて
にげようと考えたこともあり、
怠けたこともありましたが、し
かし、今ではがんばらなければい
けないというファイトが出てき
て、みんなといっしょに競争し
ています。昨年までは自分の力
にあわせて走っていましたが、
このごろでは持久力もついてき
て、順位をきそい自己記録にチ
ヤレンジするのが楽しみになっ
ています。昨年、一年生、先生
方にむりやりさせられてきたみ
たいな持久走ですが、近ごろで
は三年生が積極的になって引っ
ぱってきています。
上半身裸というのは、とても
いやだ。夏は日やけするほど暑

去年、体育の先生が「持久走
をつづけていると、将来苦しい
試験にぶつかってものりこえら
れる力がついてくる」という話
を聞いて、ぼくはその言葉をう
たがっていたが、今はそうでも
ない。ぼくは一年のときからマ
ラソンを家でも続けてきました。
また、学校では駅伝部に入り、マ
ラソンにひかれてきました。そし
て今では、自分にとってマラソン
は切っても切り離せないものにな
っています。気づかないうちに成
績も向上してきました。そのこ
とから、あの時の体育の先生の話
を信じてきているぼくは、持久
走、マラソンをこのまま続けて
いきたいと思っています。

春の交通安全運動

子どもの事故防止 安全運転を目標に展開

昭和五十七年春の全国交通安全全県民運動が、四月六日から十五日までの十日間にわたり実施されます。

今回は特に次の項目を重点目標にしていろいろの運動が展開されます。

- 一、歩行者、特に子供の交通事故防止
- 二、自転車及び二輪車の安全利用の促進



三、安全運転の確保、特に無謀運転の防止

四、違法駐車及び道路不正使用の防止

子供のための交通ルールとマナー

○お母さんがまず見本

子供には、ただことばで教えるだけでなく、まずお母さんが具体的によい見本を示して何度もくり返して教え、身を持って正しい交通ルールとマナーを習得させる必要があります。

また、子どもの成長に際して、車の性能や危険の理由も理解させるようにしましょう。

今帰仁大会

四月十七日役場ホール

今帰仁村老人クラブ連合会（湧川善雄会長）としまつた文化研究会（仲宗根幸市会長）主催による「今帰仁ミヤークニ大会」が、来たる四月十七日午後三時から村役場ホールで行われます。

大会は、ミヤークニのルーツである今帰仁のミヤークニを、伝承者の古老が健在なうちに発表の場を確保し、保存継承しようとの趣旨で開会されるものです。入場券は千円で、村老人クラブ又は各々の役員で販売しています。

若いうち明白のための保険料

期限内納付にご協力を

国民年金保険料の改定について

○国民年金の保険料が、昭和五十七年四月より月額五、二二〇円に改められました。

これは、老齢年金の受給者などが増え続けていくのと、年金額が物価の上昇に合わせて毎年引き上げられているからです。

また国民年金の給付費の財源は主に保険料でまかなわれていて、健全な年金財政を確立し、将来にわたって適正な給付水準を維持していくためにも、保険料の引き上げが必要なのです。

「高福祉適正負担」をこり解下さいまして、保険料の納付にご協力をお願いいたします。

期限内納付が守るあなたの年金

が省け、納め忘れの心配もなくなるうえに、年五分五厘の割り引きも行われ、大変有利です。

例五、二二〇円×二ヵ月＝六四〇円（毎月または納期ごとに納めた場合の一年分の保険料額）→六一、一三〇円（四月に一年分まとめて前納した場合の保険料額）で、一、五一〇円の割り引きになります。

割り引き前納をご希望の方は村役場住民課の国民年金係にご相談下さい。

軽自動車税は 4月30日までに納めましょう

軽自動車税の納期は4月30日です。軽自動車ならびに125cc以下の原付自転車をお持ちの方は、お早めに村役場税務課へ納めて下さい。



天気予報は177
病虫害予報は84-6464

3月1日からテレホンサービス導入！
お茶の間から電話1本で手にとるように病虫害の発生時期・発生量・防除薬剤・防除時期の情報がわかります。

対象作物
(さとうきび・パインアップル・野菜・カンキツ)

電話番号
(0988) 84-6464
6465
6466
〔24時間通話可能〕



地域ぐるみで育てよう

青少年健全育成運動

青少年に自信と勇気を！
目標をみつめる青春ノをスローガンに、春の青少年健全育成県民運動が三月十九日から五月十日までの五十三日間にわたり実施されています。

今年の運動の重点目標は

- ①青少年に正しいしつけをする
- ②青少年の仲間づくりをすすめる
- ③青少年の夜間外出の防止を図るとともに、環境の浄化に努める

春は、卒業、就職、進学、入学のシーズンです。一年間の学校生活、家庭生活、社会生活を省りみて、将来についての目標

をみつめさせ新しい門出を祝う時期です。

そこで、地域や家庭におきまして（オハヨウ、アリガトウゴ

ザイマス、シツレイシマス、スミマセン）のあいさつを交わすオアシス運動の輪を広げるとともに、夜間外出を防止するため子供の在宅確認をするなど、地域ぐるみでの運動を展開するようにしましょう。

送金に便利な郵便為替のご利用を

遠く離れた方への誕生・入学・結婚のお祝いや受験料、会費、購入代金等のお支払いに、料金も安く便利な郵便局の郵便為替をご利用下さい。

郵便為替は用途に合わせてお選びいただける普通為替、電信為替、定額小為替の三種類があります。

○普通為替

えてお申し込みください。

なお同会の会員は二〇歳から七〇代まで幅広く、月一回の情報交換会を通じ会の発展を図っています。会では新会員の募集も行っていますのであわせてどうぞ。また、五月九日には、本部町、名護市も含めた「オー

ル北部大会」が、北部老人福祉センターで行われる予定です。

目白歌あわせ大会

出場者募集

今帰仁村目白愛好会（大城正秀会長、会員二十五人）では、四月四日午前十時から農協ホールにおいて「第四回今帰仁村目白歌あわせ大会」を開催します。

大会参加は会員外でも受け付けますので、当日十時までに会費二千円（弁当、飲物込）を添

てお申し込みください。

なお同会の会員は二〇歳から七〇代まで幅広く、月一回の情報交換会を通じ会の発展を図っています。会では新会員の募集も行っていますのであわせてどうぞ。また、五月九日には、本部町、名護市も含めた「オー

ル北部大会」が、北部老人福祉センターで行われる予定です。

てお申し込みください。

なお同会の会員は二〇歳から七〇代まで幅広く、月一回の情報交換会を通じ会の発展を図っています。会では新会員の募集も行っていますのであわせてどうぞ。また、五月九日には、本部町、名護市も含めた「オー

ル北部大会」が、北部老人福祉センターで行われる予定です。

てお申し込みください。

なお同会の会員は二〇歳から七〇代まで幅広く、月一回の情報交換会を通じ会の発展を図っています。会では新会員の募集も行っていますのであわせてどうぞ。また、五月九日には、本部町、名護市も含めた「オー

事業主の皆様へ 労働保険の 年度更新を

五月十五日までとなっています。申告書は、三月末に事業主の皆様が発送してありますので、

労働保険（労働保険・雇用保険）の年度更新手続きを、昭和五十七年度概算保険料と昭和五十六年度確定保険料の申告・納付は、毎年四月一日から

その内容をお確めのの上、日本銀行蔵入代理店（琉銀、沖銀、沖相銀）各郵便局で早めに納付して下さい。

なお、皆様方の便宜を図るため「年更用封筒」裏面記載の日程により集合受付も行うようにしています。問い合わせは沖縄県雇用保険課・各安定所又は沖縄県労働基準局・各監督署へどうぞ。

設定方式	最低賃金の件名	最低賃金額	効力発生年月日
地域別	沖縄県最低賃金	1日 2,710円 時間給労働者については1時間 339円	昭和56年10月26日
	機械金属製品等製造業	1日 3,317円	1時間 415円 昭和56年12月20日
産業別	自動車整備業	1日 3,316円	1時間 415円 昭和56年12月21日
	出版・印刷・同関連産業	1日 3,121円	1時間 391円 昭和56年12月21日
	窯業	1日 3,260円	1時間 408円 昭和56年12月28日
	木材・木製品・家具・装備品製造業	1日 3,267円	1時間 409円 昭和57年1月4日
	卸売業 小売業	1日 2,856円 1日 2,710円	1時間 357円 1時間 339円 昭和56年4月3日



なきじん版

4月1日～5月

村民カレンダー

4/1 木		17 土	○今帰仁ミヤークニー大会 (15:00、役場ホール)
2 金		18 日	
3 土	○入園式 (中央、今帰仁保育所) ○健康相談 (8:30~12:00、保健婦室)	19 月	
4 日		20 火	○母親学級 (13:30~17:00、中央公民館) ○区長会 (14:00、役場ホール) ○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)
5 月	○入園式 (仲宗根、仲尾次保育所) ○区長会 (14:00、中央公民館)	21 水	○心配ごと相談 (13:30、中央公民館)
6 火	○母親学級 (13:30~17:00、中央公民館) ○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)	22 木	
7 水	○乳児相談 (13:00~17:00、役場ホール) ○心配ごと相談 (13:30、中央公民館)	23 金	○国民年金受給者友の会設立総会 (14:00、役場ホール)
8 木		24 土	○健康相談 (8:30~12:00、保健婦室)
9 金		25 日	
10 土	○成人相談 (9:30~12:00、平敷公民館) ○健康相談 (8:30~12:00、保健婦室)	26 月	○第11期北山老人大学開講式 (14:00、中央公民館) ○子豚セリ市 (13:00、家畜セリ市場)
11 日		27 火	○母親学級 (13:30~17:00、中央公民館) ○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)
12 月	○成人相談 (13:30~16:30、諸志公民館)	28 水	○心配ごと相談 (13:30、中央公民館)
13 火	○母親学級 (13:30~17:00、中央公民館) ○健康体操 (20:00、仲宗根公民館)	29 木	
14 水	○三歳児健診 (13:00、役場ホール) ○心配ごと相談 (13:30、中央公民館)	30 金	○1歳半健診 (13:00~、役場ホール) ○軽自動車税納期
15 木		5/1 土	
16 金		2 日	

編集後記



■野山に緑が萌えいで、やっと台風の傷跡がいったような、そんな爽やかな季節を迎えました。短かい春が過ぎると夏に向かって一直線。夏バテ予防に今から体力をつけておきたいものです。

■四月は新年度。今月号では五七年度の村予算や事業について特集してみました。紙面の都合で概略しか紹介できませんが、詳しい内容につきましては、各担当課へお問い合わせください。

■各家庭にお配りした五六年度版村勢要覧。もうお読みになったでしょうか。今回は村内に自生する草花を取り入れ、全国でも例をみないユニークな紙面ができました。企画編集にご協力いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。なお、余分に欲しい方は総務課までご連絡ください。

■新年度を機に広報の表紙を幾分変えてみました。今年度も皆様の意見を取り入れ、親しまれるより良い広報にしていきたいと思っております。どうぞよろしく。